

・・・今日も快晴!・・・
**トラックドライバー
 日誌**

「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

第8話
**安全では「事故0(ゼロ)」の継続を
 品質では「100点」の評価を**

**ドライバー
 川柳大会**



速水 涼 (31)
 運転技術が高く法令にも詳しい、周りから一目置かれる先陣ドライバー。いつもクールな表情を見せるが、何事にも熱いハートを持って向き合っている。



次で「安全」と「品質」について解説!

※「標準的な運賃」とは

2024年4月から適用される、「トラックドライバーの時間外労働の上限規制(年間960時間)」。長時間労働を是正するものですが、一方で残業削減による賃金低下でドライバーの離職が懸念され、事業の継続や重要な社会インフラである物流への影響が考えられます。そこで国では、事業者が法令を遵守して持続的に事業を行う際の参考となる運賃として定めたのが「標準的な運賃」です。



詳しくはこちらから



品質=攻撃 →「100点」を目指す!
安全=守備 →「事故0(ゼロ)」を目指す!

目指そう、安全と品質の二刀流!

投手がゼロ点に抑えるのと同じく、安全では「事故0(ゼロ)」を目指して。
打者が何点でもとった方が良いのと同じく、品質では「100点」を目指して。

他社との差別化につながる「品質」を届け、
選ばれるドライバーに

清潔感があり
好感を得る身だしなみ



その他、他社との差別化につながる「品質」とは…

第一印象の良い元氣なあいさつ

トラックをキレイに洗車

どこでも車輪止めを装着する習慣

帽子が横になったり上向きになったりしていないか

タオルを首に巻いたり、かけたりしていないか

名札は見える位置に正しくつけているか

マンガ制作:ad-manga.com

働き方改革の推進+標準的運賃の收受
⇨ 幸せが続く条件

事業とは営利活動であり、継続的に利益を上げる必要があります。事業者はドライバーに対し安全教育を行うことで「事故を防止し、損失を抑える」と、品質教育を行うことで「運賃を上げて、売り上げをアップする」。この差が会社の利益になるのです。

2024年からは国の働き方改革関連法に基づき、トラックドライバーの時間外労働の上限規制/残業時間が始まります。これにより、労働時間の制約や賃金低下を理由にドライバーの離職が懸念されるため、業界では「標準的な運賃※」などを通じてドライバーの待遇改善を促しています。事業者の皆さんはこれらのことをドライバーに対して発信されていますか?お客さまとの運賃交渉は、ドライバーの協力なしにはうまくいきません。安全面では「事故0(ゼロ)」を継続し、品質面では「100点」の評価を目指しましょう。これは「安全ではない」運送会社は輸送依頼が入らず、「品質が良い」運送会社は他社と差別化ができ、お客さまから選ばれ、運賃交渉につながるということです。

安全運転は不変の行動ですが、求められる品質は時代のニーズによって常に変化しています。ドライバーの身体と健康を守るために安全対策を行うことはもちろん、仕事と生活を守るために、品質を高めましょう。「まずは安全+つぎに品質」の二刀流への挑戦が、利益アップ、ドライバーの幸せが続くカギになります。

高い品質を「標準」にして、「価格」に反映

突然ですが、街の中華屋さんで提供されるラーメンは、調理人が誰であろうとそのお店での値段は変わらず味も同じだと思えます。もし値段がいつもと同じでありながら、調理人によって味が変わる(まじく異なる)ようであればクレームの対象になるでしょう。一方で、店員の「笑顔」や「接客」といった品質が素晴らしいければ、お客さまはリピーターになってくれるはずです。

これと同じことが、運送会社の仕事にも当てはまります。運賃は走行距離や荷物量、時間などにより算出されており、担当ドライバーごとに運賃差があることはほぼないでしょう。お客さまからしたらその会社と同じ運賃を支払っているのだから、どのドライバーにも安全に運んでもらうことを求めるのは当然です。つまり、安全面でお客さまに迷惑を掛けないことは、プロとして報酬を得ていることを思えば、「当たり前」のことです。一方、お客さまの期待を超える品質を提供し、「ありがとう」と喜んでもらうことはプロとして目指すべき姿です。付加価値となる高い品質を標準にすることが、お客さまとの運賃交渉につながり、ひいては賃金上昇、時間外労働の短縮も期待できます。

減点されない安全対策、
加点される品質向上に向けて取り組もう!

「安全」と「品質」の二刀流で、「物流のプロ」を目指して